

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2018-171354 (P2018-171354A)

【公開日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-043

【出願番号】特願 2017-72686 (P2017-72686)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 14 日 (2020.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、

その第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、

遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

その第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、

遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、

前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、

判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、

その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、

前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したことに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、

前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、

その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え、

前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、

前記第 1 可変遊技は、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが高くなる第 1 の状況と、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが前記第 1 の状況よりも低くなる第 2 の状況と、が前記第 1 入球手段へと入球した遊技球の数に応じて切り替わるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を発射可能な発射手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、ラウンド数の異なる複数種類の当たり種別が設けられているものがあり、獲得できる遊技価値を異ならせることにより、当たり中の興趣向上を図っているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来型の遊技機では、遊技者の遊技に対する興趣を向上させ難いという問題点があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、その第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判

別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したことに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、前記第 1 可変遊技は、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが高くなる第 1 の状況と、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが前記第 1 の状況よりも低くなる第 2 の状況と、が前記第 1 入球手段へと入球した遊技球の数に応じて切り替わるように構成されている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、遊技球を発射可能な発射手段を備える。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、その第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球

手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、前記第 1 可変遊技は、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが高くなる第 1 の状況と、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変している状態で前記特定領域に向けて遊技球を発射し続けた場合の有利度合いが前記第 1 の状況よりも低くなる第 2 の状況と、が前記第 1 入球手段へと入球した遊技球の数に応じて切り替わるように構成されている。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

これにより、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができるという効果がある。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 1 8 3 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 1 8 3 3 】

遊技機 A 1 から A 8、B 1 から B 8、C 1 から C 8、D 1 から D 8、E 1 から E 8、F 1 から F 8、G 1 から G 8、H 1 から H 8、I 1 から I 8、J 1 から J 1 3、K 1 から K 8、L 1 から L 7、M 1 から M 9、N 1 から N 8、O 1 から O 7、P 1 から P 9、Q 1 から Q 8、R 1 から R 8、S 1 から S 8、T 1 から T 8 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 Z 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

< その他 >

パチンコ機等の遊技機には、特定の入賞口を開閉させるための開閉板等の、モータ等で動作する可変部材を構成に含むものがある。かかる遊技機の中には、複数の可変部材を動作させることによって、多種多様な可変動作を実行することができるものがある（例えば、特許文献 1：特許第 2 5 1 4 4 1 7 号公報）。

しかしながら、上述した従来型の遊技機では、可変部材の数が増加するほど、各可変部材の動作制御が複雑となってしまうため、可変部材を好適に動作させることが困難となる虞があった。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、好適な動作を設定することができる遊技機を提供することを目的としている。

< 手段 >

この目的を達成するために技術的思想 1 の遊技機は、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段に対して所定距離を離間させて設けられ、且つ、遊技球が入球可能な第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段との間に設けられ、且つ、到達した遊技球の進行方向を前記第 1 入球手段に入球し易い第 1 進行方向と、前記第 2 入球手段に入球し易い第 2 進行方向と、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とのいずれにも入球し難い第 3 進行方向と、を少なくとも含む複数の方向のうちいずれかの進行方向に振り分ける振分手段と、その振分手段の状態を、第 1 期間の間、到達した遊技球が前記第 3 進行方向よりも前記第 1 進行方向に振り分けられ易くなる第 1 状態に設定する第 1 状態設定手段と、前記振分手段の状態を、第 2 期間の間、到達した遊技球が前記第 3 進行方向よりも前記第 2 進行方向に振り分けられ易くなる第 2 状態に設定する第 2 状態設定手段と、を備え、前記振分手段は、少なくとも前記第 2 状態に設定されている間、前記第 1 状態設

定手段により前記第 1 状態に設定されることが抑制されるものである。

技術的思想 2 の遊技機は、技術的思想 1 記載の遊技機において、前記振分手段は、少なくとも前記第 1 状態に設定されている間、前記第 2 状態設定手段により前記第 2 状態に設定されることが抑制されるものである。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機において、前記振分手段は、遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記第 1 入球手段に入球困難となる第 2 位置とに可変可能な第 1 可変部材と、遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 1 入球手段に入球困難となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記第 2 入球手段に入球困難となる第 4 位置とに可変可能な第 2 可変部材と、で少なくとも構成されているものであり、前記第 1 状態設定手段は、前記第 1 期間の間、前記第 1 可変部材を前記第 2 位置から前記第 1 位置へと可変させるものであり、前記第 2 状態設定手段は、前記第 2 期間の間、前記第 2 可変部材を前記第 4 位置から前記第 3 位置へと可変させるものである。

技術的思想 4 の遊技機は、技術的思想 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機において、前記第 1 入球手段は、少なくとも前記振分手段が前記第 1 状態に設定されている場合において、前記振分手段に対して第 1 の方向から到達した遊技球よりも、前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向から到達した遊技球の方が入球し易くなるものであり、前記第 2 入球手段は、少なくとも前記振分手段が前記第 2 状態に設定されている場合において、前記第 2 の方向から前記振分手段に対して到達した遊技球よりも、前記第 1 の方向から到達した遊技球の方が入球し易くなるものである。

技術的思想 5 の遊技機は、技術的思想 4 に記載の遊技機において、前記振分手段は、前記第 2 の方向から到達した遊技球が前記第 1 進行方向に振り分けられて前記第 1 入球手段に到達するまでの長さが前記第 1 期間よりも長くなり易くなり、且つ、前記第 1 の方向から到達した遊技球が前記第 2 進行方向に振り分けられて前記第 2 入球手段に到達するまでの長さが前記第 2 期間よりも長くなり易くなるように構成されているものである。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段に対して所定距離を離間させて設けられ、且つ、遊技球が入球可能な第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段との間に設けられ、且つ、到達した遊技球の進行方向を前記第 1 入球手段に入球し易い第 1 進行方向と、前記第 2 入球手段に入球し易い第 2 進行方向と、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とのいずれにも入球し難い第 3 進行方向と、を少なくとも含む複数の方向のうちいずれかの進行方向に振り分ける振分手段と、その振分手段の状態を、第 1 期間の間、到達した遊技球が前記第 3 進行方向よりも前記第 1 進行方向に振り分けられ易くなる第 1 状態に設定する第 1 状態設定手段と、前記振分手段の状態を、第 2 期間の間、到達した遊技球が前記第 3 進行方向よりも前記第 2 進行方向に振り分けられ易くなる第 2 状態に設定する第 2 状態設定手段と、を備え、前記振分手段は、少なくとも前記第 2 状態に設定されている間、前記第 1 状態設定手段により前記第 1 状態に設定されることが抑制されるものである。

これにより、振分手段に好適な動作を設定することができるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記振分手段は、少なくとも前記第 1 状態に設定されている間、前記第 2 状態設定手段により前記第 2 状態に設定されることが抑制されるので、振分手段に対してより好適な動作を設定することができるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機の奏する効果に加え、前記振分手段は、遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記第 1 入球手段に入球困難となる第 2 位置とに可変可能な第 1 可変部材と、遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 1 入球手段に入球困難となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記第 2 入球手段に入球困難となる第 4 位置とに可変可能な第 2 可変部材と、で少なくとも構成されているものであり、前記第 1 状態設定手段は、前記第 1 期間の間、前記第 1 可変部材

を前記第 2 位置から前記第 1 位置へと可変させるものであり、前記第 2 状態設定手段は、前記第 2 期間の間、前記第 2 可変部材を前記第 4 位置から前記第 3 位置へと可変させるものである。

これにより、状態に対応する可変部材を可変させるという比較的簡素な制御によって各状態を設定することができるので、状態を切り替える際の処理負荷を軽減できるという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第 1 入球手段は、少なくとも前記振分手段が前記第 1 状態に設定されている場合において、前記振分手段に対して第 1 の方向から到達した遊技球よりも、前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向から到達した遊技球の方が入球し易くなるものであり、前記第 2 入球手段は、少なくとも前記振分手段が前記第 2 状態に設定されている場合において、前記第 2 の方向から前記振分手段に対して到達した遊技球よりも、前記第 1 の方向から到達した遊技球の方が入球し易くなるものである。

これにより、振分手段の状態に応じて、状態に応じた入球手段に遊技球が入球し易くなるように振分手段に到達する際の遊技球の方向を遊技者に調節させることができるので、遊技者の遊技に対する参加意欲をより向上させることができるという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機によれば、技術的思想 4 に記載の遊技機の奏する効果に加え、前記振分手段は、前記第 2 の方向から到達した遊技球が前記第 1 進行方向に振り分けられて前記第 1 入球手段に到達するまでの長さが前記第 1 期間よりも長くなり易くなり、且つ、前記第 1 の方向から到達した遊技球が前記第 2 進行方向に振り分けられて前記第 2 入球手段に到達するまでの長さが前記第 2 期間よりも長くなり易くなるように構成されているので、第 1 状態において遊技球が第 2 方向から振分手段に到達した場合と、第 2 状態において遊技球が第 1 方向から振分手段に到達した場合とでは、遊技球が各入球手段へと入球困難になる。よって、振分手段の状態に応じて振分手段に対する遊技球の到達方向を遊技者に対してより真剣に調節させることができるので、遊技者の遊技に対する興趣をより向上させることができるという効果がある。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1834

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1834】

10	パチンコ機（遊技機）
66	アウト口（第 12 実施形態における第 3 入球手段）
111	払出制御装置（第 12 実施形態における第 1 特典付与手段、
第 2 特典付与手段）	
112	発射制御装置（第 12 実施形態における発射手段）
640L	左第 2 入球口（第 12 実施形態における第 2 入球手段）
640La	電動役物（第 12 実施形態における第 2 可変手段）
650Ra	右特定入賞口（第 12 実施形態における第 1 入球手段）
650Rb	可変部材（第 12 実施形態における第 1 可変手段）
655La	左特定入賞口（第 1 入球手段、第 2 入球手段）
655Ra	右特定入賞口（第 1 入球手段、第 2 入球手段）
S305	第 12 実施形態における判別手段
S542	第 12 実施形態における第 2 可変遊技実行手段
S1021	第 12 実施形態における第 1 可変遊技実行手段
S1104	第 1 状態設定手段、第 2 状態設定手段